



堀場製作所OB会

会報

通巻44号

発行日 平成30年6月30日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

◆研修旅行

- ・ エクシブ有馬一泊二日
- ・ 東京支部 奥能登周遊一泊二日

◆HOVC活動 ボランティア部会

- ・ 京都マラソンボランティア活動参加報告
- ・ 桂川流域クリーン大作戦参加報告
- ・ 鴨川茶店ボランティア
- ・ 鴨川クリーンハイク活動報告

◆OB会行事報告

- ・ 春の懇親会……………京都

◆クラブ活動報告

- ・ 山遊会
- ・ カラオケクラブ
- ・ ボウリングクラブ
- ・ 釣りクラブ
- ・ ゴルフクラブ

◆OB会カルチャー教室

- ・ パソコン教室

◆会員寄稿文

- ・ 創業者新島襄と同志社大学……………伊藤 哲

◆OB会だより

- ・ 堀場OB会ホームページ紹介
- ・ 新入会員紹介
- ・ 訃報
- ・ 年間行事計画について
- ・ 会報、ホームページへの寄稿について
- ・ OB会入会手続きについて

◆上半期会社ニュース ピックアップ

◆編集後記



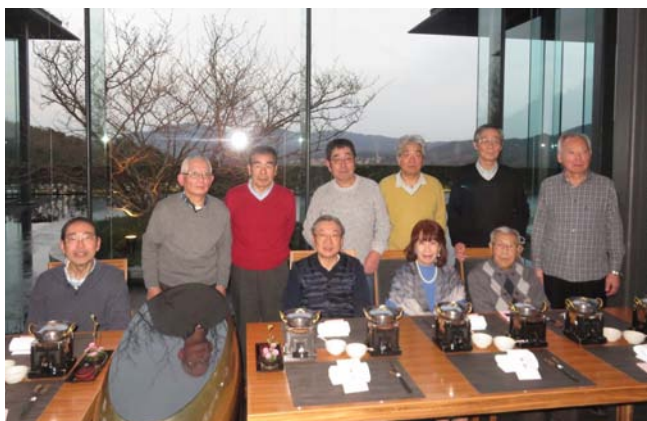
今年は、明治150年。京都洛北の地に幕末以降の新政府樹立に貢献した、岩倉具視が幽棲していた旧宅がある。岩倉具視は孝明天皇の妹 皇女和宮を徳川家茂に嫁がせ公武合体を進めて幕末の動乱期をしのぐことを画策する。このことから幕府よりだと思われ、京都市中から身をかくすことになる。岩倉の地にいた時も坂本竜馬、中岡慎太郎等が訪ねるなどして新政府時代のありようを話し合っている。邸内には、対岳文庫があり資料館となっている。また、明治に入って東京に移転しても度々岩倉の地に戻り近隣の人々と酒宴を開き大切にされたとのこと。近くに岩倉実相院がある。

アクセスは、京都バスで「岩倉実相院」下車南へ3分。
(伊藤 哲 記)

研修旅行

エクシブ有馬離宮 一泊二日

今回の一泊研修旅行は、今までと趣を異にして、ゆったりと時間の流れを感じられる旅として、エクシブ有馬離宮を計画しました。この旅を計画したのは1年前の阿蘇旅行のあとでした。何か新しい1泊旅行をとということで、エクシブ有馬離宮を提案しました。



HOCOMに相談したところ、休日はまず取るのが困難ということで、当初2017年9月10月の金、または土出発で探してもらいました。しかし、日が合わず、2018年で探してほしい、と問合せたところ、2月2日ならとれるということでした。1年がかりで、やっと日が決まりました。内容は、この宿での宿泊を目的とし、観光には参加者が自由に行ける旅行としました。のんびり過ごすもよし、有馬温泉めぐりをするもよし、皆さん個人個人自由にお過ごしください。という案内で応募しました。



20人応募したところ、11名の参加者でした。少ない人数で実施することとしました。現地集合ということで、電車または車で、希望を聞きました。参加者に聞いたところ、路線バス派も何人か

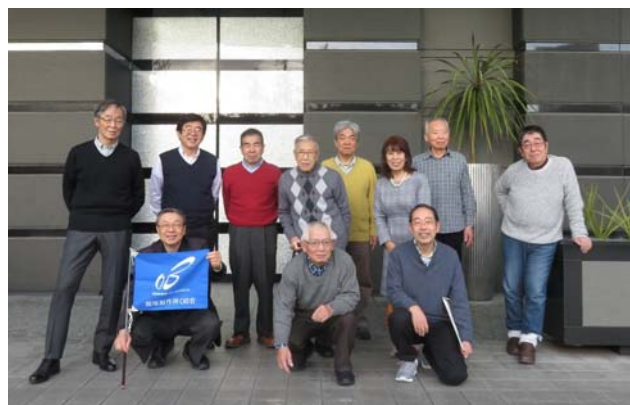
おられました。私たちは、電車で行き、有馬温泉駅から歩きました。上り坂が続き、行きも切れ切れにエクシブ有馬離宮に着きました。

エクシブ有馬離宮の建物は立派で、ルネサンスを思ふような重厚な建物でした。受付を済ませた後、夕食までの間に、風呂に行きました。風呂は豪華で雄大な景色がながめられる露天風呂がありました。夕食は日本料理のコースで、これも非常に豪華でした。皆さん満足されていました。

夜は希望者のみカラオケへ行きました。朝、記念撮影後、朝食はバイキング、洋、中華あり、めいめい好きな食べものを取りました。解散後、私たちは、温泉街の方へ出かけ、金の湯の足湯、源泉、土産物店を散策しました。土産物として炭酸せんべいなどを買い、帰路につきました。豪華な気分で満足の行く旅行でした。



参加者（敬称略）：浅島 芳雄，酒井 俊英，西尾 勝治，野口 進治，森山 晶成，山岸 豊，船越 健，宇野 久二男，宮本 美津子，中村 正博，三橋 泰夫
（三橋 泰夫 記）



研修旅行

東京支部 奥能登周遊一泊二日

実施日：2018年5月21～22日

参加者（4名）

草鹿 悌二、土屋 富夫、横井 広秋、尾崎 克好



東京支部の今年の企画は、飛行機を利用して、石川県の能登半島に行くことに決定しました。5月21日当日は良く晴れた日になり、早い集合でしたが、羽田空港へもスムーズに全員集合となり、いざ奥能登へ、出発となりました。



能登空港の上空からの眺めは、緑がいっぱい、民家が点在している状況、すごい場所にきた思いでした。空港に到着後、30名ほどのツアーバスに乗り込み、奥能登半島最北端 緑剛崎灯台を目指して出発、灯台の敷地に日本列島の「へそ」を発見、意外性に驚きました。

灯台は、高台にあり、景色が良く、佐渡島が見えました。初夏の海は静かで、水平線の大パノラマをみて、感動しました。

すず塩田村では、日本で唯一残る揚浜塩田を見学、以前、T O K I Oの松岡くんが、番組の中で、日本一おいしい塩と説明したことで、3年間品切れ状態が続き予約の電話も鳴り止まない状況が続いたそうです。塩を作るときにできる、にがりも販売していました。豆腐作りに、1本購入しました。



一日目最後の予定地、輪島・白米千枚田の景色をながめ、秋の収穫時期のポスターと見比べてやはり秋のほうがきれいに見えました。宿の温泉の後は、炉端焼の夕食となり、山海の料理に堪能しました。

二日目も快晴のお天気で、輪島塗工房の見学、輪島の朝市を体験の後、のと鉄道保管の郵便列車を見学、この列車は、日本に2台現存するだけとのこと、昔、仕事で小包郵便を出荷したことを思い出しました。最後に能登大仏を見学して、全行程を終了しました。

羽田空港に、予定通り17:50の到着で無事に旅行は終了しました。

二日間の移動距離 255Km , 歩数は約2万歩となりました。
(尾崎 克好 記)

HOVC活動 ボランティア部会

京都マラソンボランティア活動参加報告

2月18日(日)開催の「京から明日へ。京都マラソン2018」にボランティア(コース沿道整理係として参加してきました。堀場製作所OB会より中村(正)さん、伊藤さん、竹内さん、石黒さん、森山さん、村田さん、中村(十)さん、萩原さん、宇野さんの10名で、四条通り梅宮大社前の15班を担当(毎年同人数で同じ場所)しました。



私達の作業は、コース沿道の整理です。班別に集合して作業の説明を受けて、それぞれの担当場所に資材(三角コーン、コース区分テープ等)を運び設置します。



規制状態になると、コースには、一般の方が入らないよう案内します。大会開催中に緊急事態が、発生した場合は、ランナーストップの旗を掲げて、ランナーに対して緊急車両が通ることを案内します。(幸いに今まで使用した事はありません)大会が始まるとランナーの皆様へのおもてな

しの心で温かく応援します。最後尾ランナー通過後は、資材の撤収を行い解散となります。



今年のマラソンで感じたことは、ランナーの方々が真剣に走っておられるように思いました。それは、最後尾のランナーの方まで、スピードが早くまた、沿道の写真を撮ったり、着飾ったかっこうで走る方が、少ないように見えました。それに、外国の方を多く見受けました。

白バイの先導にて、車いすランナーが、駆け抜けて行かれ、ランナーの一団が現れると人・人の波が来られ、それが、ぞくぞくと続きます。応援している私の手が、疲れてきてジーンとしびれてきました。ようやく最後尾・・・。大変寒い中でしたが、ランナーの方からのエネルギーをいただきポカポカとなりました。資材撤去後、集合写真を撮って解散し帰宅しました。これからも堀場製作所OB会からのボランティア活動に参加していきます。

(笠川 重美 記)



HOVC活動 ボランティア部会

桂川流域クリーン大作戦 参加報告

小春日和の3月4日(日)に第11回桂川流域クリーン大作戦に参加してきました。淀川水系一斉美化アクションとして桂川流域の自治会と各種団体による清掃活動で、堀場製作所OB会は松尾大社前を担当しました。

松尾橋に集合して、今年は10名が参加(酒井、森山、中村(十)、中村(正)、沢本、宮本、宇野、梶並、秋山、笠川)してきました。参加団体の紹介に堀場OB会代表して森山さんの挨拶があり今後もっと参加人数を増やしていきたいと元気に話されました。清掃活動の注意説明があり、ゴミ袋、軍手、火箸が支給されて、私達OB会は嵐山方向に向けて上流の清掃を始めました。

河川敷の歩道部分はゴミは少ないのですが、川の雑草部分などにはゴミが多くありました。



先頭集団の後にでも、ゴミが見つかり、私は、軽自動車のタイヤを拾ってしまいました。私の後ろには、茂みの中の獲物を探すように沢本さんが、堤防の斜面には、忍者のように宇野さんがゴミを徹底的に拾っておられました。(写真)

先頭から離れていても、大きなゴミ袋が途中でいっぱいになりました。途中野バラのとげによる刺し傷はありましたが、無事終了することができました。約2時間の清掃作業でしたが、大変に疲れてしまいました。昼食前でもあり、恒例(好例)となった全員参加で大変に美味しいぜんざいをいただき、おなかも満足となり疲れを吹き飛ばし帰宅しました。

堀場OB会会員のみなさま、おいしいぜんざいを一緒に食べませんか。次会の清掃活動には多数の参加をお待ちしています。(笠川 重美 記)

鴨川茶店ボランティア

肌寒い4月7日(土)8日(日)に第四十四回鴨川茶店に参加してきました。鴨川茶店は、鴨川を美しくする会と京都鴨川ライオンズクラブが主催で毎年桜の咲く府立植物園西側「なからぎの道」鴨川の左岸で開催されています。



今年も茶店の北大路橋入口付近の安全整理をOB会より7日3名(船越、三橋、笠川)8日3名(小川、中村(正)森山)で参加してきました。今年は、それまでの初夏を思わせる気温でいつも

ですと桜が咲いて春のお茶席にふさわしい情景になるのですが、花は少しとなり葉桜となってきていました。また前日までの雨の影響で曇りがちで風が強く冬に逆戻りの寒い日となりましたが7日は多くの方が来られていました。ふれあい広間では、吹奏楽、踊り、騎馬隊との撮影会などの行事が行われ華やかな雰囲気です。沢山の観客でにぎわっていました。

次頁に続く



HOVC活動 ボランティア部会

鴨川茶店ボランティア 続き

私は、3時の休憩時に少し桜の花が残っている紅白の幕で囲われたお茶コーナーで抹茶とだんごをいただき「花より団子」の気分になりゆったり気分。物産コーナーでお餅などを買って帰りました。安全整理では、騎馬隊の大型トラック（お馬さん用）とプラスバンドの楽器運搬トラックの駐車スペースを確保しておかなくてはならないのですが、例年植物園に来られた方が無理に車を止めようとするのですが、今年は、植物園の駐車場に空きがありスムーズに対応できました。

また外国の方が、道をたずねられたりとかの対応が多くあるのですが、袖振りを着た女性が桜の木の下で写真を撮影されたあと私の前を通られるのですが、着物姿が大変に似合う外国の方でし

た。ぜひ皆様も、「鴨川を美しくする会」への協力と、茶店にお越しく下さい。（笠川 重美 記）



鴨川クリーンハイイク活動報告

2018年4月29日（土）昭和の日に鴨川を美しくする会主催の「鴨川定例クリーンハイイク」が開催され、堀場OB会からは萩原、石黒、沢本の3名が参加しました。



親子連れにも遭遇でき、ひととき心ならずゴミ拾いとなりました。また、普段は目にするのがない琵琶湖疎水の鴨川への排水口の紹介や北向きに流れる白川疎水通のお話を萩原さんから教え頂きながら、11時30分にはゴール地点の丸太町橋北詰めに到着、拾ったゴミを集めて解散となりました。（沢本 昌順 記）

午前10時に料理旅館「鶴清」南側の五条大橋西詰め鴨川五条公園に100名を超える参加団体・個人が集合、主催者挨拶のあと鴨川兩岸の上下歩道に参加者が分かれてゴミ拾いがスタート、堀場OB会は左岸下側の歩道を担当することになりました。晴天にも恵まれ、組立がほぼ完了した鴨川納涼床を眺めながら上流へ進むと、スキューパー関係者による川底のゴミ拾いもなされていたり、可愛い6羽の雛を連れて川面を泳ぐマガモの



行事報告

春の懇親会開催報告

OB会春の懇親会が定例開催場所「がんこ 高瀬川二条苑」で4月21日お昼より開催されました。いつもなら桜が咲いている高瀬川沿いの「がんこ」ですが、今年は、桜の花の代わりに初夏を思わせる新緑の木々にありました。

堀場OB会春の懇親会は39人の方の参加での開催となりました。小川さんの司会で始まり、今回は、酒井代表幹事から会社の近況報告を含めた挨拶、そして吉井さんの乾杯にて宴会となりました。

みなさんの懐かしい思い出話や近況など、お話される活気と盛り上がりは、現役時代のホリバリアンそのものでOB会とは思えない若さと輝きを感じました。それは、今も元気にボランティア、趣味そして事業で活躍されているからだと思えました。参加された方の中から、近況をご披露いただきました。注目の高かったのは、「がんこ」で活躍している配膳マシン（搬送ロボット）で、みなさん興味を示されていました。美味しい



食事とたくさんのお酒をいただきました。皆さんとの楽しい時間は早く過ぎ、船越副代表幹事より締めをいただきました。全員での記念撮影は、宴会場の縁側にて撮影、がんこの係の女性にも入っていただき、みなさんの元気さが撮影できました。
(笠川 重美 記)



クラブ活動報告

山遊会

<第53回> 例会山行

年月日：平成30年2月24日（土） 晴
山行先：鷹峯三山（うち鷹ヶ峰260m・鷲ヶ峰314m） / （左）大文字山 234m

参加者：池田 俊明・下川 和子・高橋 義治・
下川 博司・橋口 純男・倉原 政治・丸山博・
宇野久二男・加藤 順三



午前8時40分京都市バスわら天神バス停に集合し、52分発M1系統原谷行きに乗り、立命館西園寺記念館前で下車。金閣寺のフェンス沿いの道から山へ取り付く。30分ほど登って稜線鞍部の分岐

点に。体が温まってきたので上着を脱ぎ、水分補給をしながら鷲ヶ峰に向かう。9時45分山頂で最初の集合写真を撮り、分岐点まで戻って稜線を進む。左大文字山との分岐点を鷲ヶ峰に向かい10時15分到着。引き返して分岐点を下り、左大文字山頂上から10時40分火床へ。京都市街はPM2.5の影響かぼんやり霞んでいる。火床の最上部で2枚目の記念撮影をし、山頂へ戻り分岐点2箇所を経由して11時40分立命館西園寺記念館前バス停まで帰ってきた。第8回総会・懇親会を行う「しょうざんリゾート京都」の送迎バスで会場へ。「チャイニーズレストラン楼蘭」で萩原孝一・森本順孝・中村正博・山岸豊の4名と合流、総勢13名で総会・懇親会を開く。第54回例会山行3月31日（土）音羽山・高塚山、第55回例会山行5月25日（金）大峰山・武庫川渓谷、第56回例会山行6月9日（土）鷲峰山、の計画を決議し、14時和気あいあいのうちに総会・懇親会を終え、レストラン前で記念撮影の後ギフトショップに立ち寄り、14時35分発の送迎バスで北大路バスターミナルまで乗車し散会した。（下川 博司 記）

<第54回> 例会山行

年月日：平成30年3月31日（土） 晴
山行先：音羽山（593.4m）・高塚山（485m）

参加者：池田 俊明・下川 和子・高橋 義治・
下川 博司・橋口 純男・倉原 政治・宇野久二男

京阪電車京津線大谷駅午前8時50分集合に全員早い目に集結。蟬丸神社で軽く体操を済ませ9時丁度に出発、東海自然道に行く。延々と続く階段の道を登り、NTT無線中継所のアンテナを右手に見て少し歩き、音羽山路傍休憩所の案内板でコースを100m程左に逸れトイレ休憩を取る。10時5分コースに戻り10時35分音羽山山頂到着。西に市街南部の眺望が開けている。湖西の山を背景に恒例の記念撮影を済ませ10時45分出発。途中東海自然道を左に逸れ、牛尾観音を右手下に見て11時35分桜ノ馬場まで下ってきた。満開の桜を期待していたが、弱弱しく1本咲いているのみで、何故かほとんどが立枯れている。

木陰で昼食休憩して12時スタート。溪流沿いの道を登り、上醍醐と高塚山の分岐を右にとり、13時丁度に高塚山頂上に着いた。見通しは全くない、2枚目の写真を撮って13時15分下山開始。この辺りは頭上に高圧線が複雑に走ってお



り、鉄塔に出て14時10分長尾天満宮に立ち寄る。本日の安全登山のお礼参りをすませ、桜日とで混雑する醍醐寺の境内を抜け、15時地下鉄醍醐寺駅で解散となった。（下川 博司 記）

クラブ活動報告

山遊会

＜第55回＞ 例会山行

年月日 平成30年5月25日(金) 晴
山行先 大峰山(552.3m)・武庫川溪谷
参加者 下川 和子・下川 博司・倉原政治・
宇野久二男・加藤 順三

阪急電車河原町駅午前8時15分集合、8時22分発快速急行梅田行きに乗り、十三駅で乗り換え宝塚駅に9時46分着。阪急田園バス10時発波豆行きに乗り込み、10時18分十万辻で下車しそのまま登山口をさして歩を進める。30分ほど歩き貸農園管理所でようやく1台の車に出合い登山口を訪ねると、道が違うとのことでバス停まで引き返す羽目に。11時30分バス停まで戻りゴルフ場への道に行く。ゴルフ場入口直前を左旋回してフェンス沿いに進み、11時50分ようやく登山口に取り付く。照り返しの強い舗装道路から、爽やかな木陰の山道に入り、12時25分山頂到着、とりあえず昼食とする。

3等三角点を前景に記念撮影の後13時丁度に出発。標高差400mの急坂を下り14時廃線側登山口に出た。昭和61年JR福知山線生瀬駅と武田尾駅間が付け替えられ、単線の廃線跡が遊歩道として整備されている。進路とは逆の上流側に長尾第2トンネルが口を開けていて出口まで見通せる。トンネル前で2枚目の記念写真を撮り、武庫川沿いを下流方向へ歩く。間もなく1つ目の長尾

第1トンネル入り口となり、各自懐中電灯を頼りに通過、武庫川第2橋梁を渡ると道は溪谷の右岸となる。左岸はそそり立つ岸壁が屏風のように連なり、一昨日の雨で水量を増した急流が巨岩の間を走るさまは圧巻だ。枕木だけが残る道を横溝尾トンネル・北山第2トンネル・北山第1トンネルと進み、名塩川との合流点を過ぎ中国自動車道の高架を仰ぐあたりで遊歩道が終わる。ここから高架下を通りJR生瀬駅まで歩く予定であったが、真新しい案内板が設置されており、これを参考に右に逸れ、民家の間の細い道に行く。国道176号線に出たところで阪急バス木ノ元バス停があり、15時56分発を待つて西宮名塩からきたバスに乗り終点阪急宝塚駅前下車。

16時20分発梅田行き急行で帰路に着いた。

(下川 博司 記)



カラオケクラブ

当クラブは、同好会発足から2月例会で13回と恒例行事と定着し、新しい参加者も少しずつ増えてまいりました。2月例会は、2月24日(土)大変寒い時期でもあり、当初参加者が少いのではと心配しておりましたが10名の参加となり大いに盛り上がりました。カラオケ大好きな土肥さんや、松本顧問もいつものことながら熱唱でしたが、分部(浮村)さんのご主人や内ヶ島(現役)さんの参加で、雰囲気も変わり新鮮で、しかもご主人は、中々歌いなれていて初参加にもかかわらずレギュラーメンバーの様でした。中村(正)さん、森山さん、池田さん、高田さんの常



連組も熱唱で、最後当会のテーマ曲「青春時代」で締め括り散会となりました。お開き後、ダウンや、オーバーコート間違えて帰られた人がいて、持ち主探し、解決に2時間もかかるハプニング。年をとるとあかん!!(笑)

4月例会は、4月21日(土)春の懇親会が二条苑で開催後、その流れで開催致しました。2次会的で参加者も多いかなと思いましたが、7名と参加が少なくとても残念で思感が外れました。でもでも7時まで途切れることもなく熱唱でストレス発散出来たのではと推察致します。

すっきりしたい時は、是非カラオケクラブに参加下さい!!

(小川 榎幸 記)

クラブ活動報告

ボウリングクラブ

「2月例会報告（2018/2/10(土)）」

2018年2月例会は山田毅さんが優勝です。安定した投球でアベ160越えです。5ピン差の2位はハイゲーム217・ハイシリーズ586の永田真寿夫さんです。左足太もを痛めていた永井さんが復帰して3位でした。前回優勝の毛利はレーンに合わせる事ができず最下位に沈みました。田中光子さんは腰痛のため見学、芦谷さんは癌発見でも参加して健闘です。



「3月例会報告（2018/3/10(土)）」

今年の桜は早かったですね。今年からボウリング投げ放題+ビール飲み放題になりました。さて、3月例会は鳥島さんのぶっちぎりの優勝です。ハンデなしでも500点越えの好成績です。実力アップかどうか次回が注目です。2位は安定してきた山田昌美さんです。前回優勝の山田毅さんは厳しいハンデで最下位でした。4月の巻き返しが期待されます。

釣りクラブ

4月28日(土曜日)に下川、山岸、中村、加藤の4名が舞鶴の遊漁船「いおり」で沖釣りを楽しみました。連休初日とあって当初は渋滞を懸念しましたが予定通り10時には、沖合の冠島に向け出船することができました。朝方は少し寒く、波も1メートルほどありましたが、1日中快晴で波も昼頃には、ベタ凧となり楽しい釣行となりました。ブランクの長かった加藤さんを含め全員好

「4月例会報告（2018/4/14(土)）」

ゴールデンウィークはどのようにお過ごしでしょうか。私は人が多いのが嫌いなのでどこにも行かず、世界の京都で楽しんでいます。4月例会は、永田真寿夫さん実弟芦谷恭通さんの優勝です。芦谷さんは先月は大腸がんで手術を受けて欠場、復帰後早々のアベ165は立派です。2位には足の故障から徐々に戻ってきた田中光子さんです。5月の優勝はローハンデとなる芦谷さん前回優勝の鳥島さんとハンデが調整された山田毅さん、山田昌美さんの激戦になると思われます。



「5月例会報告（2018/5/12(土)）」

梅雨入り前に晴れた暑い日が続いています。5月例会ですが、芦谷さん(永田さん実弟)が2連覇です。大腸がん手術から復帰後に厳しいハンデを乗り越えて立派な成績です。2位は惜しくも田中光子さん。こちらも2回連続です。次回こそ。(毛利 隆文 記)

釣果で大型の真鯨、真鯛、メバル、鯖等を多数釣ることができました。(調子 均 記)



クラブ活動報告

ゴルフクラブ

平成30年5月29日（火）第8回堀場製作所OB会OBGCコンペが、信楽カントリー倶楽部杉山コースにて行われました。新規OB会に加入されたイシさんと、OB会ゴルフコンペに柳田さんが、初めて参加されました。まずは全員揃った写真を撮ってから、小菅幹事からルール説明の後、9時8分スタートとなりました。梅雨が近い事を感じさせる蒸し暑い天候の中、参加者はトラブルもなく無事、ホールアウトできました。特に、途中までは幹事役だった米田さんには、コース、賞品の手配から、参加者への勧誘と、いろいろ御手配を頂き、更には入院中にも拘らず、病床から各所へ電話して、御気遣いをして頂いたとの事で、この成功の陰に、米田さんの御気遣いが有った事を申し添えさせていただきます。ありがとうございます。

今回優勝者は、初参加の柳田さん（NET 69.6）、準優勝：三好さんとなり、恒例の次回幹事は、このお二人となりました。今回も、参加者の企業オーナーの方々（3社）のご協力を頂き、・ステージ賞（毛利さん）・ゴビ賞（小菅さん）・内山賞（参加予定でしたが、今回も腰治療の為欠席）が設けられました。更にイシさんからワインの差し入れを頂き、参加者全員に賞品が当たる結果となりました。私は久々の参加となりました

が、OB会ゴルフクラブが多く参加を頂き、段々、隆盛になり、スコアのレベルも高くなっていて、誠に素晴らしい事と感謝する次第です。次回、第9回の開催日は、平成30年10月、11月の辺りで、早めに開催の企画と、連絡をするということでお開きとなりました。次回も多くの方々の参加をお願い致します。

順位：①柳田 祥男 ②三好 則夫 ③大西 敏和
④倉原 政治 ⑤宇野 久二男 ⑥早田 善孝
⑦佐々木 一訓 ⑧石田 耕三 ⑨毛利 隆文
⑩山田 毅 ⑪永井 博 ⑫小菅 博之 ⑬酒井俊英
（敬称略） （酒井 俊英 記）



OB会カルチャー教室報告

パソコン教室

今月からパソコン教室を開催することとなりました。第1回目は05/11（金）に、ハードウェアについて開催しました。参加者は6人。初めての開催ということで不安はありましたが、まずまずの出足でした。

1回目の内容は、

1. コンピュータとは 2. コンピュータの歴史 3. コンピュータの機能 4. ハードウェアとソフトウェア 5. ソフトウェア 6. 周辺機器 の内容で進めました。質問も活発に行われ、パソコン持参で、設定がうまくいかない、といった質問もあり、各自のパソコンで対応し解決に至りました。盛況のうちに終わりました。

全5回の予定です。

05/11金（1）ハードウェア
06/08金（2）インターネット
07/06金（3）メール
08/10金（4）エクセル
09/07金（5）ワード

（三橋 泰夫 記）



久しぶりに、母校を訪ねてみた。数年前にNHK大河ドラマで「八重の桜」でも紹介されていた、新島襄を紹介しようと思う。



様子や近代化が進んでいるのを目の当たりに見て、宗教を基礎にした、教育の必要性を痛切に感じます。同志社英学校の設立。帰国後1年で英学校を作ります。当時の人口大阪30万人。東京100万人。神戸5万人。と外国人居留地に近い所に作ることもできたが、京都府顧問会津出身の山本覚馬(八重の兄)からの話もあり、薩摩藩跡地、相国寺辺りに学校用の用地を手に入れます。お寺の数が3,500、僧侶の数は8,000人。英学校の設立は猛反対にあっており、聖書を教えないなどを条件に進められた。最初は学生8人、教師2人でスタートした。大学の価値は200年たってからわかると考えていた。現在の大学の繁栄を新島襄はどう感じているのでしょうか。(写真は新島襄と八重)

幕末、群馬の安中藩の武士の子として江戸で生まれる。姉ばかりで、男子として生まれたことから七五三太と書いて「しめた」と名前を付けられている。弟もいたが若くして亡くなっている。21才で函館から当時鎖国であった国禁を犯して、アメリカに渡っています。約10年間、アメリカ、ヨーロッパで勉強し明治になって帰国しています。費用はわずかに4両、現在でいえば60万円ぐらい(色々な評価額があります)。他の国費で留学した人たちは100両ぐらい用意していたと言われています。後に、国費留学に切り替えてはと話があったらしいが、国費になると国との間でしがらみが生じるとのことで、断っている。



アメリカには、上海経由でボストンに向かうが1年ぐらいかかる。最初の10週間はアジアから来た異邦人ということで何を頼って良いのか途方にくれていた。オランダ語のロビンソンクルーソーを読んでいて、同じような境遇で何とか打開できるように「祈り」、船主のハーディ夫妻に会い、急転直下、面倒を見てもらうことになる。神学校に通わせてもらい、アーモスト大学に行くようになる。日本人初のアメリカの大学卒業生となる。

アメリカとヨーロッパに約10年いて、明治7年に日本に帰り、親ともあっています。

アメリカから帰る前に、宣教師を派遣するアメリカン・ボードでスピーチをし、5,000\$の寄付を集める。学校設立のための資金。アメリカで町の



良心碑「良心の全身に充満したる丈夫の起こり、来たらんことを」一学生に送った文

・主な重要文化財

ハリス理化学館

天文台もあった。自責の杖がある。階段の手すりさわると大学に受かるといふ謂れがある。

OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

検索エンジンから「堀場OB」で検索し、「お気に入り」に追加ください。

<http://horiba-ob.com>



－ 新入会員紹介 －

新入会された会員を紹介します。(敬称略) 第22期 石田 耕三、鈴木 修

－ 訃報 －

村瀬 潤様、木下 大日郎様をご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

★「2018年1月に逝去された橘川 温氏への追悼の言葉 (社内報より)」

代表取締役会長 兼グループCEO 堀場 厚 (ホリ) さん

橘川君 (キッチャン) は私にとって長年の戦友であり、管理や財務の断面からHORIBAグループをここまで成長させた重要な功労者の一人でした。私は社長に就任してから、社内組織のバランスを整えることに注力してきましたが、開発・設計に偏っていたHORIBAにおいて管理・財務を強化するためにたゆまない努力をしてくれました。1982年に米国に赴任後、元HII社長の中川賢亮氏の厳しい指導の下、生え抜きとして尽力し、日本に帰国してからはその国際経験を活かしてHORIBAのグローバル化を支えてくれました。彼は私の大切なパートナーであり、HORIBAが新たなステージに移行しようとしている今、経験豊かな彼を失ったことは大変残念でなりません。キッチャンは私の一言、二言で意図を理解して実行する、素晴らしい部下であり仲間でした。また、今のHORIBAのグループ統括機能はしなやかでありながら、強じんな体制が誇りであり、この体制は柔軟さと実直さを併せ持つ彼の性格そのものです。ご子息はもちろん、彼を父のように慕い成長した若いホリバリアンが現在、たくさん活躍しています。皆さんと共にホリバリアン全員がキッチャンの意志とおもいを継承していきましょう。



－ 年間行事計画について －

計画についてはホームページに「年間行事予定表」年間OB会行事を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク (年間5～6回の予定)
 - ・ 鴨川茶店 (4月済)
 - ・ 鴨川納涼 (8月予定)
- 工房学習支援 (年間：7～8回の予定)
- 研修旅行 (2月済)
- 春の懇親会 (4月済)
- 懇親会 (9月予定)

- ブルーベリー摘み体験 (8月2回予定)
- レジャー例会 (4月、6月、11月の予定)

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので

参加いただくようお願い致します。行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合に長文では取扱いに苦慮する場合があります。

このため、文字数の上限を下記の通り取決めさせていただきますので協力いただくよう宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

◆ホームページへの活動報告

800文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願いいたします。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

■OB会入会手続きの手順

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。

(手続き完了)

【OB会員の皆様へ】

皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。
堀場OBホームページトップページの「OB会入

テーマは特に決めていません。

〈旅行の感想〉、〈地域での活動〉、〈地域の名所・旧跡の紹介〉、〈趣味〉、〈家族〉など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」

(1,000円分)を進呈させていただきます。

会報は毎年6月と12月に発行しますので4月末、10月末を目途に提出いただくようお願いいたします。

◆著作権について

・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。
(発行元、書籍名、著者)

・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

会報事務局編集責任者 伊藤 哲

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所OB会 会報事務局宛

会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 船越 健

幹事 森山 晶成

中村 十規人

小川 柁幸

三橋 泰夫

沢本 昌順

笠川 重美

東京支部幹事 尾崎 克好

会計幹事 伊藤 哲

会計監査 湯浅 一郎

上半期会社ニュースピックアップ

「HORIBAグループ 新体制披露パーティーが開催されました」

2月16日、ウエスティン都ホテル京都 瑞穂の間にて、お客様やお取引先など約600名のご出席を得て、HORIBAグループ新体制披露パーティーを開催されました。パーティーでは、“グループ経営力の強化、グループ経営体制の明確化、HORのさらなる技術力と開発力強化”を狙い、2018年1月1日よりスタートした堀場会長、齊藤副会長、足立社長による新体制がご紹介されました。



「ウィリアム王子がホリバMIRA社をご訪問されました」

2月20日、英国王室よりウィリアム王子がホリバMIRA社（MIRA／イギリス）を訪問されました。王子自らの運転でMIRAのテストコースを走行されたほか、自動車開発エンジニアリングにおける先進技術を体感されました。

以前より、ウィリアム王子ご自身もMIRAに強い関心を寄せられていたことから、今回のご訪問が実現しました。約2時間の滞在中、ウィリアム王子は英国の乗用車メーカーであるアストンマーチン社の自動車で高速走行用トラックを体験されたのち、散水路でのグリップ性能や挙動を確認するテスト走行を王子自らの運転で行われました。さらに自動運転車での走行を体験されるなど、MIRAの先進技術の一端を体感されました。また、MIRAの若手ホリバリアンや幹部社員と歓談され、一人ひとりと熱心にお話しになりました。



編集後記

今号から会報発行日を5月末、11月末に変更して発行する運びとなりました。今回は移行により、発行が変則的になりますが、ご了承ください。季節の良い時期に編集作業をすることにより、さらに誌面の充実を図ってまいります。また、総会開催時期に合わせ、総会内容を早く掲載することも考えています。

人生80年時代から100年時代と言われています。水戸光圀は「人生に余生はない」と言っていたようです。会員の皆様のご意見などをお寄せください。世界は米朝会談後の行方や大学スポーツの危機管理が懸念されています。6月はサッカーW杯での世界レベルの技にくぎ付けになるかもしれません。
(編集担当)

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://horiba-ob.com> *
